



TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」
そんなコンセプトで贈る塾通信

★今月のトピックス★

「環境が良くても、悪くても、勉強できないものはできない」

「当たり前をやめてみる」

「そこに存在する矛盾」

皆さんこんにちは！坪田塾です。

日に日に暖かくなってきて
身も心もぼわ~っとすることが増えてきました(^.^;

・・・ではなく、いろいろと活動しやすくなる季節が到来ですね♪

さて、今月のトピックスは3部構成です！
ぜひ、ご一読ください！



● 3月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

「環境が良くても、悪くても、勉強できないものはできない」

こんにちは。もう3月ですね！

せっかく進級が決まって、遊んだり、ゆっくり休んだりするチャンスが来たのに、
「たまには勉強しなさい！」なんて家ではよく言われてた、車道校の富田です。

受験生にとって、「夏期講習を制するものは受験を制す」と言われています。
それはまた、6・7月になったら担当の先生から話が出てくるのですが、
そもそも、「夏期講習を制するために、春期講習を制す」ことができるかが重要です。

ただ、「けどさ、家で勉強できないし！！」ってなりません？

家ってめちゃくちゃ快適じゃないですか？

「ゴミがたくさんありすぎて足の踏み場もない」

とか

「スマホいじりすぎて発熱してる」

とか

「推しアニメのフィギュアがたくさんある」

とか

「ジャニーズの推しメン写真・ポスターがたくさんある」

とかいろいろあると思うんですよね。

もしくは、ぼくなんか特にそうだったのですが

「(勢的に) 30秒に一回くらい親が自分の部屋に入ってくる」

なんてこととか

「いきなりお兄さん、お姉さんが、お母さん、お父さんがブチギレてくる」とか

なんてこととかありません？

ってことなんで、家で勉強するって結構難しいことだと思うんですね。

(少なくとも、自分の場合はそうでした)

そういう場合は、まず、塾で勉強できる習慣をつける、っていうのもアリだと思います。

自分の場合も、初めは、家で勉強できませんでしたが、

まずは、塾で勉強する習慣をつけて、

図書館に行って、勉強するようになり、

最終的には家でも勉強することができるようになりました。

こうした学習の習慣をつけるチャンスなのが「春期講習」です！

受験生ではない皆さんも、「まずは毎日塾に来て勉強する」といったところから

始めてみてはいかがでしょうか？

「当たり前をやめてみる」

こんにちは！赤萩校の高橋です。

少しずつ暖かい日も増えてきて、春の兆しを感じるようになった今日この頃ですね。

今月は先日知り合いにオススメしてもらいおもしろかったなあと感じた本をみなさまに紹介したいと思います。タイトルはこちら！

学校の「当たり前」をやめた。一生徒も教師も変わる！公立名門中学校長の改革—

もしかしたらご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、千代田区立麴町中学校の校長である工藤勇一さんが書かれた本です。

麴町中学校は、最近メディアにも取り上げられており、その取り組みに注目が集まっている学校です。

この本の帯には、「宿題は必要ない」、「クラス担任は廃止」、「中間・期末テストも廃止」という一瞬「えっ!？」と感じてしまうような3つの言葉が並んでいます。

この3つは、皆さんにとって「当たり前」のものではないでしょうか。

少なくとも私はずっと当たり前だな~と思っていた、
というか当たり前とも思わないくらいに当然のものだと思っていました。

この本を読んでいくと、ただ宿題やテストを止めればよいという話ではなく、なぜ自分が〇〇をするのかという問いかけが見えてきます。

「手段の目的化」という言葉があります。

例えば、志望校合格するために勉強することというのは、
志望校に合格することが“目的”であり、勉強することが“手段”になります。

しかし、もし「学校から帰ったら1日4時間勉強しなさい。それができないと先なんてないよ！」
というような言葉を周りから聞いたら、子どもたちはどう感じるでしょうか？

1日4時間勉強しないと怒られる→仕方なくやる→内容はどうあれとりあえず4時間
という数値目標がクリアできればOK（周りから怒られない）という構図ができてきます。

この時の“目的”は1日4時間勉強することにすり替わっている状態です。
もともとは勉強することが“手段”であるはずなのに、
いつの間にか勉強することが“目的”になってしまう、
そのことによって本来の目的を見失ってしまう状態は本末転倒ですよ。

もちろん志望校合格のために、勉強することは絶対的に必要です。

しかし、ただなんとなく勉強している状態はとってももったいない！！
しかも、続けているうちに、なんでこんなに勉強しているんだろう…？と
疑問も浮かんできて負のスパイラルへ…という流れも想像できてしまう。

だからこそ、

ちょっと立ち止まって「なぜ〇〇をしているのか」と考えてみるのがとっても大事です。
この「なぜ？」の部分が明確になると、行動を起こす強いエネルギーになってきます。

日々の当たり前な出来事に対して、「なぜ？」を問いかけてみませんか？

「そこに存在する矛盾」

こんにちは。坪田塾上本町校の大山です。

テレビ特番で時々やる「ドケチ生活で手に入れた豪華な暮らし」系の番組をご存知でしょうか。僕はあれをみてある発見をしました。

そこに存在する矛盾です。

理想の暮らしや環境、欲しかったアイテムを手に入れた後にも関わらず、それまでのドケチにあまりに慣れ親しみすぎて、無意識にそれまで癖を続けてしまっているところが面白いと思いませんか？

やっとなで手に入れた高級外車、メルセデスベンツ。

高級車というのは排気量が大きく、加速も違うし、高速でも余裕の走りを体験できます。

一方で、やはりガソリンはめちゃくちゃ食います。

もちろんハイブリッド車もありますが、基本的にいえば、燃費が悪いのです。

入れるガソリンもハイオクで単価が高くなるんです。

簡単にいえば、車両価格と同じく維持費もかかるということですね。

にも関わらず、その人がやってしまうのは、

ベンツを買うお金を貯めるために頑張ってきたドケチ精神が忘れられず、

ベンツを買った後も安いガソリンを買ってしまいます。

安いタイヤを履き続けたり、めちゃめちゃエコ走行したりして、軽に追い抜かれたりします。

「じゃあ、最初からベンツにしなきゃいいじゃん！」ってなりません？

「ベンツを手に入れたんだし、めちゃくちゃ走り込みましょうよ！」

同様に、ついに手に入れた豪華マンション。

高層階で眺めは絶景。

ドラマに出て来そうな大きな窓のあるリビングに 100 インチの大型テレビ。

最高の環境がそこにあります。

にも関わらず、その人がやってしまうのは、

マンションを買うためにそれまで続けて来たドケチ生活なんですね。

キッチンアイテムは全部 100 均。

ティッシュペーパーは使い回し！

一度使ったティッシュをなんと、乾かしてもう一度、

あるいは、汚れていない部分を見つけて何度か使ってから捨てます！

ティッシュはダブルではなく 1 枚つづ使うのはいうまでもありません。

「じゃあ、最初から安アパートに住めばいいじゃん！」ってなりません？

「マンションを手に入れたんだし、めちゃくちゃ生活を楽しみましょうよ！」

そこで僕は発見しました。

「これって中高生に似ている。」と。

例えば塾選び。

ほかの教室ではなく、坪田塾に決めてくれた皆さん本当にありがとうございます。

そんなみなさんは間違いなく「最高の教育環境とシステム」を手に入れました。

坪田塾には研究し尽くされた教材があります。

数えきれない成功を生み出してきた勉強方法があります。

にも関わらず、中には残念ながら、それまでの習慣を続けてしまう人がいます。

高難度のテキストを使い続けようとしています。

みんなが使ってるからという理由で。

ノートにひたすら単語を書き続ける人もいます。

今までそうしてきたからという理由で。

「じゃあ、最初から家で勉強してたらいいじゃん！」ってなりません？

せっかく坪田塾に決めたんだから、坪田塾の教材をめちゃくちゃ使い込みましょうよ！

坪田塾から伝授された勉強方法を

※徹底的にパクってしまいましょうよ。（※我々はこれを TTP と言います。）

坪田塾を選択した諸君、それまでの習慣はいったん脇に置いて、

坪田塾生活しちゃいましょう！